

新総合体育館基本計画（案）概要版



I 基本計画策定の背景・目的

現総合体育館は、昭和60年11月に空の科学館との複合施設として建設され、多くの市民に親しまれていますが、規模の不足や機能面での不便が指摘されるなど、市民・利用者や競技団体からのニーズを満たせていません。

このような状況を受け、市民や関係団体からの意見を基に、基本コンセプト、基本方針、施設規模の考え方、整備候補地を整理した「半田市新総合体育館基本構想」（以下、「基本構想」）を令和7年3月に策定しました。

本基本計画は、基本構想のコンセプトなどを基に、施設の運営方針や民間活力の導入、適切な施設機能の詳細や規模等を取りまとめることを目的とします。

II 整備場所の検討

基本構想において、新総合体育館の建設場所については【半田びよログスポーツパーク（半田運動公園）敷地内】と決定し、半田運動公園内の既存施設や新総合体育館の想定規模等から、公園内の設置場所として「A」「B」「C」「D」の4箇所を設置候補地としました。

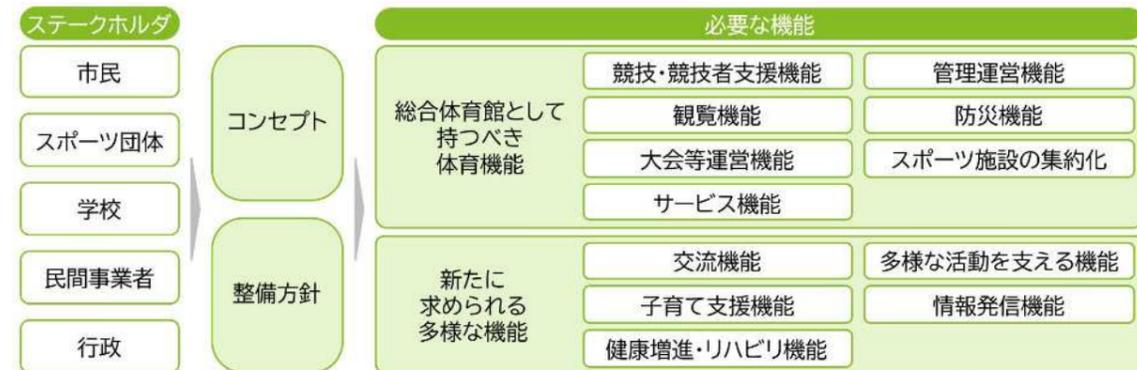
敷地条件や既存利用者への影響、公園既存施設との連携、駐車場との近接性、体育館整備以外に要する事業コストの4つ観点から考察した結果、整備場所を候補地「D」としました。



III 施設整備方針

昨年度実施したスポーツ団体等へのヒアリングや市民ワークショップの結果を踏まえ、コンセプトを具現化するために求められる施設機能として、以下の通り「総合体育館として持つべき体育機能」と「新たに求められる多様な機能」の二つの側面から整理しました。

また、スポーツの活動拠点として、半田祭をはじめとした大規模なスポーツイベントの開催が可能な機能、諸室、設備を確保するため、施設規模としては延床面積約9,000㎡を見込んでいます



IV 施設計画（施設配置計画）

新総合体育館の建築面積は約7,000㎡を想定します。

新総合体育館の整備により、運動公園への来訪者増加が想定されることや、現在の第2駐車場がなくなることなどを踏まえ、新総合体育館の東側の第1駐車場の区画整理を実施し、また、半田運動公園の正面ゲート付近に新たに駐車場を整備することで必要な駐車台数の確保を想定しています。



【凡例】
 : 駐車場の整備等

IV 施設計画（平面図・各競技コート数）

●平面図・各競技コート数

コンセプト及び整備方針等を踏まえ、新総合体育館の平面計画を以下の通りと想定します。

メインアリーナの規模は、半田祭の開催を想定し、バスケットボールコート3面を基本とする約2,700㎡を想定しており、メインアリーナ及びサブアリーナにおける各競技のコート数は以下を想定しています。



V 管理運営計画

数十年間に亘って利用される新総合体育館については、持続的な運営方法の確立や、多様化・高度化する利用者ニーズに柔軟に対応し基本コンセプトの実現を図ることが重要な課題となります。

このため、以下の通り運営方針を設定し、民間事業者の創意工夫・ノウハウ等を取り入れた運営体制を構築します。また、新総合体育館単体ではなく、半田運動公園全体を一体的に維持管理運営することで、サービスの向上や効率化を図ります。

【運営方針】

- ・ 民間事業者のノウハウ・創意工夫を活かした持続可能な管理運営
- ・ 魅力ある施設づくりによる市民の利用促進・スポーツ実施率の向上
- ・ 半田運動公園との一体的な利用価値向上
- ・ デジタル技術やデータを活用した効果的かつ効率的な運営
- ・ 地域社会への貢献を目指した運営

VI 事業費用

2025年11月時点の建設物価や人件費を踏まえ、概算事業費として調査・設計費及び工事費、約15年間の維持管理運営費を試算した結果、総額約110億円（税込）と想定しています。

種別	項目	概算事業費
調査・設計	測量・地盤調査、基本設計、実施設計、各種申請手続き、設計監理費など	4億円
工事	新総合体育館建設工事、付帯工事	96億円
維持管理運営	新総合体育館の維持管理運営（15年間）	10億円
合計		110億円

※概算事業費はあくまで市において算出した参考値であり、事業費種別毎の上限額を規定するものではありません。

VII 事業手法

事業手法としては、従来から行われている「設計・施工・維持管理分離発注方式」のほか、近年事例が増えているDBOやPFI、Park-PFI等の官民連携による事業手法などが考えられます。

新総合体育館の整備及び維持管理運営については、民間事業者の創意工夫・ノウハウ等を取り入れていくことが重要となります。

このため、新総合体育館の事業手法の検討においては、民間事業者へのサウンディング調査やVFMの算定を通して、各事業手法を定量的・定性的に総合評価を行いました。

総合評価の結果、本事業においては、DBO手法を採用することとします。

なお、維持管理運営については新総合体育館及び半田運動公園全体も含めた指定管理を基本方針とします。

DBO（新総合体育館＋半田運動公園の維持管理）手法

VIII 事業スケジュール

令和8年度に発注準備を開始し、令和10年度以降に設計・建設を進め、令和13年度中の供用開始を目指します。

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
事業スケジュール	基本構想	基本計画	発注準備	事業者応募・選定・契約	設計	建設・外構工事		
		民間活力導入可能性調査						開業準備
								★ 開業目標